

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 浅原 達郎					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	火3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	説文解字(字音)										
【授業の概要・目的】											
清代の学者による説文解字の注釈を，とくに字音に重点を置いて読みながら，古文字学の基礎となるべき説文解字の読み方を探る。											
【到達目標】											
説文解字のなかから自分なりの文字を選んで，その文字の字義と字音について理解を深める。											
【授業計画と内容】											
ひたすらていねいに読むことを心がけるが，ただ，出土文字資料との関連には留意したい。説文解字のどの文字を読むかは，受講者の希望を聞いて決める。テキストには，段玉裁『説文解字注』（経韻楼本）を用いる。受講者おのおのが一冊準備して持参することを前提とする。講義の進め方の詳細については，初回の授業で説明する。 第1回 ガイダンス 第2回～15回 説文解字の読解											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
(参考書) 特になし											
【授業外学習(予習・復習)等】											
ともかく段玉裁『説文解字注』（経韻楼本）を開き，なんでもいいから文字を探し，読んでみる。 (その他(オフィスアワー等)) オフィスアワーの詳細については，KULASISで確認してください。											